
投稿規定

1. 投稿は、「論説」「研究ノート」「論点をめぐって」「学界展望」「書評」とします。枚数は400字詰め原稿用紙で、「論説」「研究ノート」は80枚程度、「論点をめぐって」は50枚程度、「学界展望」は30枚程度、「書評」は15枚程度とします。表は、刷り上がりの2割以内とします。
 2. 投稿できる人は、原則として会員に限りませんが、「論点をめぐって」「学界展望」「書評」については、会員からの推薦があれば、会員外の人でも投稿ができます。「論説」「研究ノート」については、会員との共同執筆の場合に限って、会員外の人でも投稿できます。
 3. 投稿の際は、ワープロ原稿2部（コピー可）を、本誌編集委員会宛てに書留便で郵送してください。
 4. 投稿原稿については、編集委員会において審査し、可能なかぎり2カ月以内に結果をお知らせします。
-

執筆要綱

1. 執筆原稿

- (1) 本誌は、横2段組み・脚注方式を採用しています。脚注は通し番号とし、論文末に一括してください。
- (2) 本文と注は、同じ大きさの活字を用い、活字の大きさを変えるなどの編集は一切行わないようにしてください。
- (3) 投稿原稿は、掲載が決定した段階で、原則として電子メールの添付ファイルで、何れもMS-WORDまたはDOS.TXTファイルで提出していただきます。
- (4) 表は、電子ファイル（Excelなど）で処理できるものに限り、図は掲載しません。

2. 文献の表記法

- (1) 書籍、雑誌は、日本語および中国語の場合は『 』、欧語の場合は原則としてイタリックで表記してください。また論文の場合は、それぞれ「 」, ‘ ’または(“ ”)としてください。
 - (2) 文献の表記は、各々の分野において一定の慣習がありますが、基本的には次の順序にしてください。
書籍は、著（編）者、タイトル、刊行地（外国語文献の場合）：出版社、刊行年。なお、翻訳書は原著の後に〔タイトル、訳者、出版社、刊行年〕を付記する。
論文は、著者、タイトル、雑誌名、巻号、発行年月（または収録書籍に関する基本情報）。
 - (3) 文献に関する情報は、初出時に正確に記し、2回目以降の引用に際しては、前掲書・前掲論文、*ibid*, *op. cit.*は使用せず、長い場合は、読者に明示的になるように書名・論文名を簡略化して表記してください。例えば、鈴木圭介『アメリカ経済史の基本問題』岩波書店、1980年は鈴木『基本問題』, Gabriel Kolko, *The Triumph of Conservatism: A Reinterpretation of American History, 1900-1916*, Chicago: Quadrangle Books, 1967はKolko, *The Triumph*と略記し、大塚〔3〕あるいは大塚（1969）のように論文末の参考文献リストにもとづく表記は行わないでください。
 - (4) 数字は、原則としてアラビア数字を使用してください。ただし、桁数の多い数字の場合は、「1億2000万人」のように記してもかまいません。
 - (5) 基本的な表記については本誌最新号の「論説」あるいは「研究ノート」を参照してください。
-